

私が存在する理由は… (ピリピ 1:23-24)

クリスチアンの本当の意味の成功に必要なことは、なぜ生きているのか、なんのために生きているのか、存在価値はなにかに對する正しい答えを持つことです。そうすれば、いまの状況や条件がどうであっても、必ず勝利することができます。なんとなく生きていけるなら、なんとなく意味のない一生になり、まちがった理由のために生きているなら、まちがった人生になります。いま、なにをがんばるのかの前に、なんのために生きているのかに對する答えを出しましょう。

まず、いままで生きてきた中で教えられた**世の中が作った生きる理由**について考えてみましょう。世の中は、**幸せになるために**生きるように教えます。幸せになるための材料として経済的な豊かさが必要だと言います。また、**上に立つ成功を目指して**生きるべきだと教えます。それ



から、自分も気がつかないうちに持っている小さい頃に受けた**傷の反動**を生きる理由にする場合もあります。復讐の思いが原動力になるというのは、小説やドラマでよく描かれているでしょう。**欲望、野望の達成のために**生きる場合もあります。**好きなことを好きなだけ邪魔されずにやる**ことが生きる理由の場合もあります。また、**立派な理由や崇高な理由**もあります。社会貢献、困った人、差別されている人のために、自分を犠牲にしてまで生きる人もいます。**自分の家族のために**生きる場合もあります。そのような理由とはちがいで、なんとなく、**理由なし**で生きている場合もあります。死なないから生きているから生きているということです。このような世の中が言う理由が、本当に尊い価値ある人間が生きる存在理由になるのでしょうか。

人間の存在理由を考えるために、もともと人間はどのような存在だったのかを考えてみましょう。人間は特別な価値ある存在として創造されました。神様がともにおられる、靈的な存在であり、唯一、肉を持つ存在とし

て創造されたのです。創造されたとき、存在そのものが幸せで祝福でした。神のかたちということは、神様の代理で、**創造された目的は、万物をおさめて神様の栄光をあらわし、御名をほめたたえ、賛美をささげるため**でした。これが、**本当の生きる理由**です。この目的のために祝福されました。そして、神様の栄光を現す方法は、**まことの安息の中で、信じる信仰を持って、安らぎ味わいつつ生きる**ことです。信じることで安らぎを味わい、目的をまっとうできます。そのために、ともに助け合うパートナーも与えられ、共同体として同じ志を持って、助け合って生きるようにしてくださいました。4つの川を流し、食べ物もすべて完備に備えられていたのです。このように神様の栄光を現すことが、人間の生きる理由で、これが味わい喜ぶ最高の希望であったのです。

しかし、罪を犯して、すべてなくしてしまいました(ローマ3:23)。その結果、自分なりの生きる理由で生きているのですが、それらはすべて、神様から離れて出てきた理由なので、本来の理由にはなりません。創造された本来の理由でなければ、存在の理由とはならないのです。神様は、人間を愛してくださいまして、祝福を回復するためにイエスをキリストとして送ってくださいました。イエス様は十字架で身代りに死なれ、神のかたちを回復してくださいました。**イエスをキリストと信じて受け入れた信者は、本来の生きる理由が回復している**のです。神様を離れた世の中から救い出され、すべてが新しくなっています(Ⅱコリント5:17)。聖霊が宿る神の神殿になっています(Ⅰコリント3:16)。天にあるすべての靈的祝福が注がれていて(エペソ1:3)、愛されている幸せな存在になりました。永遠の天国が保証済みです(ピリピ3:20)。新しく作り変えられた、すでに幸せな存在になっているので、生きる理由もこの世のものとは違います。神の栄光を現すために生きるのです。

信者としての目で世の中を見ると、世の中は創世記3章の原罪の中で、悪魔から出た者として、たましいが死んで、神の御怒りを受けるべき子らとなって生きています。サタンに支配され、結局は地獄に行くしかありません。世の中には、キリストしか希望はないのです。そこから救い出し、天の御国の祝福が与えられるようになることが、神の栄光を現すことで、これが生きる理由になります。本音から、これが生きる理由だと悔い改めるようにしましょう。神様の理由を自分の生きる理由にするのです。それが天命です。暗やみの世の中で、イエスがキリストであると本音で告白して信じるときに、神の国が臨みます。**暗やみの中にいる人々に、イエスがキリストであることを伝えてあげて、神の国が臨むようにすること、これが伝道であり、それが生きる唯一の理由**です。イエスがキリストと告白すること、存在の理由は神の国を立てる

ことだと告白することは、同じことです。そのときに、ほんとうの神様の答えが与えられるようになります。

すでに完備に救われた神の子どもです。存在が変わったので、本音から、イエス・キリスト以外は希望はないと告白して、そのあと、存在する理由は、この世にキリストを伝えて神の国を立てることですと宣言するようにしましょう。これを、毎日、宣言しましょう。伝道が存在理由にして、人生と祈りを整理しましょう。そして、いるところ(現場)で、キリストを伝えて神の国を立てると、ここからはじめましょう。そのとき、はじめて、クリスチャンとしての倫理、道徳が理解できます。すべてが伝道のためにというのが、クリスチャンの倫理です。宣言を自分のものとして、毎日、すべてのことで宣言するようにすることをお祈りします。

(<http://jremnant.com> に音声と動画が出ています)

メッセージカード

ピリピ 1:23-24 私が存在する理由は…

なるほど/存在の理由が漠然とすると漠然とした人生、理由が間違っていれば間違った人生になるほど、存在の理由は人生の根本方向を左右する。キリストを知り世界を知っている信者は、神の理由が存在の理由となり、今までの理由を改めて、キリストをこの世に伝え、神の国を立てることを存在の理由として告白し願ひ宣言して喜ぶ者であり、そのとき、答えの門が開かれる。ならば/毎日、与えられた出会いと与えられた現場を置いて存在の理由を宣言しよう。そして、祈ろう。伝道を存在の理由にして人生を整理し、祈りを整理しよう。

インマヌエル教会聖日メッセージ祈り文 (2016年6月5日)

1部礼拝 : 落胆することが起きたとき (ホセ 1:10-11)

神様が今も成就されているみことばの成就、祈りの答え、救いのみわざの中に私をいさせて、神様の真の祝福、答えの中の答えを味わうようにされて感謝します。神様の契約を握って、そのみことばの成就を味わいながら、滅亡から抜け出る福音を回復しなければならない時代の状況を見ますように。人間に滅亡と災いに陥れるサタンの最高の戦略である偶像の問題を知って、靈的な事実を見ますように。神様が私に与えられるみことばを握って、人を生かし、私の産業を生かし、世の中を生かす証人になりますように。イエス・キリストの御名によってお祈りします。アーメン。

2部礼拝 : 新しい力 (ヨエ 2:28-32)

毎日神様が与えられる差別のない新しい力を得て、完全な失敗の中でも未来の希望を約束されたことに感謝します。モーセに与えられた過越祭の力、五旬節の荒野の力、収穫祭の幕屋と天国の背景を味わいますように。今、現場に臨まれるすべての災いを止める、神様が与えられる新しい力を得ますように。末世に神様が与えられた聖霊の満たしの力を24時間体験して、この時代の残者になって救いのみわざを成し遂げ、次世代が立ち上がって時代を生かしますように。イエス・キリストの御名によってお祈りします。アーメン。